

## 1 農業普及振興室直営事業

### (1) 新たなステージを目指す「かみきた産直」チャレンジ事業(県民局重点枠 R3~4)

#### ア 事業目的

上北地域における産直施設の販売力強化に向けた取組を支援することで、買物弱者の支援や新たな生活様式にも対応した産直モデルを構築し、管内産直施設への波及を図る。

#### イ 事業内容

##### (ア) かみきた産直ビジネスモデル実証

販売力強化に向けて2タイプのビジネスモデルを実証する団体を公募し、産直3団体が販売システムや採算性等の実証を行った。

##### ①移動販売タイプ

- ・(株)産直とわだ(十和田市)

食料品店が近くにない地域への移動販売

- ・三沢市近郊やさい生産組合(三沢市)

官公庁・企業を対象とした事前注文・配達による販売

##### ②店内売り方・商品工夫タイプ

- ・なたねの会(横浜町)

地場産品に新たな付加価値を加えた商品の販売



事前注文配達販売

##### (イ) 先進事例調査

群馬県及び広島県の産直が実施している、出張販売や新たな商品づくりについての先進事例調査を実施した。

- ①実施日 令和3年12月13日～15日

- ②視察先 道の駅たくみの里(群馬県)、夢高原市場(広島県)

##### (ウ) かみきた産直ステップアップセミナーの開催(リモート開催)

販売力強化に向けた新たな取組を波及させるため、先進事例、実証結果の報告、有識者等による講演を内容とするセミナーを開催した。

月日	主な内容	参加者
令和4年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみきた産直ビジネスモデル実証成果発表 (実証実施3団体)</li> <li>・実証結果に対するアドバイス</li> <li>・全国先行事例の紹介 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 審議役 吉岡 靖二 氏</li> </ul>	17名

<b>(2) 上北やさいスマート農機普及拡大事業(県民局重点枠 R3~4)</b>
---

**ア 事業目的**

スマート農機経営モデルの活用により、スマート農機の普及拡大を図り、労働力不足に対応できる野菜産地を育成する。

**イ 事業内容**

(ア) スマート農機の普及推進

## ①上北地域スマート農機普及推進研究会の設置

推進体制として地域のスマート農機導入経営体、関係機関・団体、農業機械メーカー、研究機関等で構成される研究会を設置した。

## ②「上北地域スマート農機普及推進方策」の策定。

月日	場所	主な内容
令和3年 7月2日	サンロイヤ ルとわだ	①上北やさいスマート農機普及拡大事業について ②上北地域スマート農機普及推進方策について ③野菜研究所、国、県のスマート農業関連事業について
令和3年 9月8日	サンロイヤ ルとわだ	①上北地域スマート農機普及推進方策（案）について ②上北地域における自動操舵トラクタ及びドローンの普及状況について
令和3年 10月29日	サンロイヤ ルとわだ	①上北地域スマート農機普及推進方策の一部修正について ②上北地域スマート農機普及推進方策に基づく具体的な取組について ③フォーラムの開催について
令和4年 3月	書面協議に より開催	①令和3年度の活動実績について ②令和4年度の活動計画について

(イ) 労働力不足に対応できる自動操舵トラクタの活用促進

## ①自動操舵トラクタの活用研修会の開催

女性農業者や若手農業者を対象として、自動操舵トラクタによる各種作業を体験する研修会を開催した（8/4、11/10、11/11 参加人数：延べ27名）

## ②自動操舵トラクタの活用方法ビデオマニュアルの作成

業者委託により、ながいも・ごぼうの植溝掘り作業、だいこんの播種作業、ねぎの植溝掘り作業、にんにくのうね立て作業のマニュアルを作成した。（ビデオマニュアルは来年度分を加えて完成）

<b>(3) 地域農業を支える普及活動推進事業 (県単 H30～)</b>
---------------------------------------

**ア 事業目的**

労働力不足や米政策の見直し等に対応するため、スマート農業や高収益作物の導入、農業経営改善、女性の経営参画を推進する濃密な普及活動を展開する。

**イ 事業区分及びその内容**

区 分	対 象	事業内容
多様化・高度化する農業経営に対応した経営安定化普及活動	【経営指導関係】 認定農業者等	1 パソコン複式簿記研修会の開催 (1) 時期：12月、1月、2月 (2) 内容：パソコンによる複式簿記記帳 (3) 参加者：延べ28名 2 経営分析・診断研修会の開催 (1) 時期：3月 (2) 内容：複式簿記記帳結果の分析・診断 (3) 参加者：4名 3 個別農業経営相談の実施 (1) 時期：随時開催 (2) 内容：農業経営改善計画作成支援 (3) 対象：265経営体 4 営農情報誌の発行 (1) かみきた楽農通信 第58号（令和3年5月17日発行） 第59号（令和4年2月17日発行）
農山漁村女性の経営参画推進普及活動	V i C・ウーマン及び女性組織リーダー等	1 次期リーダー育成のための若手女性農業者のスキルアップと情報交換を目的とした交流会 (1) 期日：令和3年10月26日（火） (2) 場所：東コミュニティセンター（十和田市） (3) 内容：かみきた畑美人交流会の開催 （講師）つぶつぶ雑穀料理教室もみの木 石井 ともみ氏 (4) 参加者：6名 2 男女共同参画推進会議の開催 (1) 期日：令和3年5月18日（火） (2) 場所：十和田合同庁舎3階B会議室 (3) 内容：農村女性活動支援事業等の情報共有 (4) 参加者：管内市町村、J A 14名

#### IV 令和3年度実施事業

		3 ViC・ウーマン候補者の掘り起こし 十和田市2名 4 家族経営協定の推進 ※1月現在、東北町2戸、六戸町2戸
--	--	---

### (4) 女性起業育成・経営発展支援事業 (国庫 R2~4)

#### ア 事業目的

農林水産物の加工・直売、農漁家レストラン等の起業活動を行う女性や、本格的な起業を目指す農山漁村女性を支援し、女性農林漁業者の経営力強化、新規女性起業家の育成を図る。

#### イ 事業内容

令和3年度かみきた農山漁村女性起業講座の開催

(ア) 期 日：令和3年8月20日

(イ) 場 所：三沢市公会堂 調理実習室及び第8・9集会室

(ウ) 参加人数：実習12名、講義11名

(エ) 内 容

①加工実習「米麴を活用した新たな加工技術について」

講師：(地独)青森県産業技術センター 農産物加工研究所  
研究管理員 鹿糠 奈々子 氏

②講義「改正食品衛生法について」

講師：上十三保健所生活衛生課 主幹 東海林 明子 氏



食品衛生法の改正についての講義



発酵あずき加工

## (5) 地域がつながる農福連携促進事業（国庫 R2～3）

### ア 事業目的

農業分野における障がい者の就労機会の拡大と取組定着に向け、農業ジョブトレーナーの育成や地域段階におけるワンストップ窓口の構築などを行い、農福連携の取組を促進する。

### イ 事業内容

#### (ア) 福祉事業所農作業ユニットの実習支援

障がい者の農作業能力向上のため、福祉事業所利用者を対象にごぼうの出荷調製作業の実習を延べ19日間実施した。（福祉事業所1事業所、農業者1名、12月1日～12月27日、十和田市）

#### (イ) 令和3年度上北地域農福連携研修会の開催

農業者と福祉関係者が互いの理解を深めて障がい者の働きやすい環境づくりを進めることを目的に、福祉関係者及び農業法人を対象に研修会を開催した。（10月28日、農業法人における障がい者雇用の事例見学及び意見交換、参加者19名）

#### (ウ) 上北地域農福連携推進連絡会議の開催

関係機関が情報共有することで連携を強化し、取組みを推進するため、連絡会議を開催した。（2月上旬、書面開催）

## (6) あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業（国庫・県単 H29～R5）

### ア 事業目的

第4次青森県食育推進計画（令和3年度から令和7年度）の目標である「健康で活力に満ちた『くらし』と持続可能な『食』の実現」に向け、食育県民運動の一層の充実を図る。

### イ 事業内容

#### (ア) 地域食育ネットワーク協議会の運営

上北地域においても食育への取組機運向上を図るため、協議会委員を参集し、新たな関連情報の共有や意見交換等を行うことを目的とした連絡会議を開催した。（12月16日、出席者18名）

**(7) 放射性物質モニタリング調査(県単 H24~R7)****ア 事業目的**

平成24年4月1日から、食品中の放射性物質の基準値（厚生労働省）が変わったことに対応し、管内主要農林産物の放射性物質モニタリング調査を実施し、その安全性を確認する。

**イ 令和3年度実施結果（上北地域県民局地域農林水産部担当分）**

今年度は玄米5点、ながいも5点、原木しいたけ1点、野生きのこ1点で放射性物質モニタリング調査を行ったが、いずれも基準値を超える放射性セシウムは検出されなかった。

**(ア) 調査実績**

分類	品目数	件数	品目名	検査結果	
				放射性セシウム 134 (Bq/kg)	放射性セシウム 137 (Bq/kg)
穀類	1	5	玄米	検出されず (<5.0)	検出されず (<5.0)
野菜	1	5	ながいも	検出されず (<5.0)	検出されず (<5.0)
林産物	2	2	原木しいたけ	検出されず (<5.0)	検出されず (<5.0)
			野生きのこ	検出されず (<5.0)	7.6 ※
計	4	12			

※基準値（100Bq/kg）を下回っているため、問題なし

**(8) 青森県特別栽培農産物認証制度（県単 H11~）****ア 認証内容**

国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」、「青森県特別栽培農産物認証要綱」に基づき、農薬や化学肥料を使用しないか、通常の5割以下に減らして生産した農産物を「青森県特別栽培農産物」として認証している。

令和3年度は19件（作目別では延べ27件）を認証した。

**イ 実績**

(ア) 令和2年6月計画承認申請分（栽培開始期が8月~11月までの農産物）

市町村名	品目数	承認数 (件)	認証数 (件)	生産者 数(名)	ほ場筆数 (筆・棟)	認証ほ場 面積(a)	区分
十和田市	1	3	2	2	2	55	A : 1 F : 1
七戸町	3	4	4 [ 2 ]	17	53	1,215	F : 4
東北町	1	1	1	1	1	20	F : 1
横浜町	1	1	1	1	1	30	A : 1
合計	6	9	8 [ 2 ]	21	57	1,320	

※[ ]内は、令和2年度に認証済

(イ) 令和3年1月計画承認申請分（栽培開始期が3月～7月までの農産物）

市町村名	品目数	承認数 (件)	認証数 (件)	生産者 数(名)	ほ場筆数 (筆・棟)	認証ほ場 面積(a)	区分
十和田市	5	8	8	8	19	506	A : 4 E : 1 F : 3
七戸町	3	4	4	24	103	2,238	A : 2 F : 2
六戸町	2	2	2	2	6	183	F : 2
東北町	1	1	1	1	1	30	A : 1
おいらせ町	2	2	2	3	6	95	A : 2
合 計	13	17	17	38	135	3,052	

(ウ) 令和3年6月計画承認申請分（栽培開始期が8月～11月までの農産物）

市町村名	品目数	承認数 (件)	認証数 (件)	生産者 数(名)	ほ場筆数 (筆・棟)	認証ほ場 面積(a)	区分
十和田市	3	4	(2)	4	6	(7.5)	A : 2 E : 1 F : 1
七戸町	5	6	(2)	21	37	(10.5)	A : 2 F : 4
東北町	1	1	(0)	1	1	(0)	F : 1
横浜町	1	1	(0)	1	2	(0)	A : 1
合 計	10	12	(4)	27	46	(18)	

※ ( ) 内は、令和3年12月末時点での数値

- 区分： A 農不・化不（農薬不使用・化学肥料不使用）  
B 農不・化5（農薬不使用・化学肥料5割以下）  
C 節農不・化不（節減対象農薬不使用・化学肥料不使用）  
D 節農不・化5（節減対象農薬不使用・化学肥料5割以下）  
E 節農5・化不（節減対象農薬5割以下・化学肥料不使用）  
F 節農5・化5（節減対象農薬5割以下・化学肥料5割以下）

(エ) 令和3年10月申請（栽培開始期が12月～2月までの農産物）

計画承認申請者無し。

**(9) エコファーマー認定制度（県単 H12～）****ア 認定内容**

「持続性の高い農業生産方式導入の促進に関する法律」に基づき、持続性の高い農業生産方式（土づくり、化学肥料低減、化学合成農薬低減を一体的に行う生産方式）に関する導入計画を策定し、その計画が県による審査委員会で適当であると認められた農業者を「エコファーマー」として認定している。

**イ 認定状況（令和3年12月末現在）**

市町村名	認定者数 (名)	主たる作物毎の認定状況			備考
		認定作物名	認定者数 (名)	認定面積 (a)	
十和田市	2	水稲	2	647	
七戸町	1	野菜（根菜）	1	34	根菜：ながいも等
管内合計	3		3	681	

※認定者数は、認定期間（5か年）を満了した者を除いた人数。



## (10) フレッシュファーマーズ育成定着支援事業（県単 H26～R5）

## ア 事業目的

新規就農者や若手農業者を対象とした農業の基礎的な知識・技術に係る研修会や相談会の開催により、意欲ある多様な人財を農業の担い手として育成する。

## イ 「上北地域いきいきヤングファーマーゼミナール」（資質向上支援活動）

期 日	研修名及び内容	講 師	参加人数
令和3年 6月10日 6月11日	営農基礎研修 (農薬の使用方法)	・農業普及振興室 藤井総括主幹 杉山技師	2か所計 11名
6月17日 6月18日	営農基礎研修 (土づくり)	・農業普及振興室 林技師、 黒瀧技師、松本主査	2か所計 11名
7月16日	地域の優良事例視察研修	・農業経営士 瀬川博文氏 ・新規就農者 田嶋瑞穂氏	16名
8月2日	農作業安全研修① 刈払機の安全な使い方について の講義及び実習	・林業・木材製造業労働災害防止 協会 青森県支部 最上猛氏	5名
8月19日	農作業安全研修② VRを用いた農作業事故疑似 体験及び事故防止対策の学習	・農業普及振興室 黒瀧技師	5名
11月2日	営農基礎研修 (堆肥の基礎知識)	・上北地域県民局地域農林水産部 畜産課 植田畜産推進監	13名
12月9日 ～10日	農業経営研修（農業セーフテ ィネット制度（収入保険）、複 式簿記の基礎）	・団体経営改善課 佐々木主幹 ・農業普及振興室 斗ヶ澤主幹	延べ22名
12月21日 24日	農業経営研修（パソコン複式 簿記の基礎）	・農業普及振興室 斗ヶ澤主幹、 和田主任専門員	8名
令和4年 1月12日 13日 20日 21日 2月2日 3日	農業経営研修 (パソコン複式簿記の実践)	・農業普及振興室 斗ヶ澤主幹、 和田主任専門員	延べ3名
2月14日 ～17日	農業経営相談会（個別相談）	・農業普及振興室 斗ヶ澤主幹、 下山主査	1名

**(11) 若手農業トップランナー強化支援事業（県単 R2～3）****ア 事業目的**

意欲的な若手農業者を対象に、柔軟な発想と大胆な行動力、経営会計力やマーケティング力を持ち、本県農業の新たなステージを切り開き、果敢に農業にチャレンジする「若手農業トップランナー」を育成する。

**イ 上北管内における塾生の状況**

「若手農業トップランナー」の育成を目的に開講している「若手農業トップランナー塾」に、平成20年から令和2年度までに当管内から31名が参加しており、今年度、当管内から2名がトップランナー塾に参加した。

**ウ 研修等への参加状況**

期 日	内 容
令和3年6月8日	開講式・特別講演会
7月17～18日	第2回セミナー 内容：体験型経営術習得研修（マネジメントゲーム）
10月29日	巡回訪問
11月8～10日	県外視察研修（北海道）
11月29日	県内視察研修（弘前市、黒石市）
令和4年1月21日	第3回セミナー 内容：農産物ブランディングの基礎、SNSを活用した顧客づくりの取組紹介
2月2～3日	第15回アグリフードEXPO東京2022への出展
2月16日	第4回セミナー 内容：販路開拓に向けた研修
3月22日	成果発表会・閉講式

**(12) 地域貢献型地域経営拠点づくり事業（国庫 R3～5）****ア 事業目的**

農山漁村における青森県型地域共生社会の実現に向けた地域づくりを支援するため、地域担い手育成総合支援協議会及び地域農業再生協議会が、中・長期的な視点の下に地域自ら「地域経営」の核となる組織・人材を育成し、その経営を発展させ、地域への貢献活動を広く波及させるなどの地域マネジメントの取組を行うとともに、市町村長の推薦を受けた地域経営体が、青森県型地域共生社会の一翼を担う主体としてレベルアップする取組を行う。

**イ 事業内容**

(ア) 地域貢献型マネジメント定着事業 (単位：円)

事業主体名	主な事業内容	補助金額
十和田市地域農業再生協議会	地域経営体個々のレベルアップに向けた活動への支援 ・認定農業者や集落営農組織代表者を対象とした視察研修の実施	600,000
横浜町地域農業再生協議会	新たな地場産品・加工品の創出と地域経営体の活動促進 ・特産品（菜の花はちみつ）を活用したスイーツ商品開発 ・冬季に出荷可能な野菜の試験栽培	277,860
東北町地域担い手育成総合支援協議会	地域課題の解決力の強化 ・認定農業者や青年農業経営者協議会員の農業経営の現状と課題の掘り起こし	131,710
合 計		1,009,570

(イ) 地域貢献型経営体レベルアップ推進事業

事業主体名	主な事業内容
まいるど大根出荷組合	・だいこん引抜機の導入によるだいこん収穫作業の負担軽減及び効率化 ・引抜機の操作、メンテナンス及び利用規程の説明、作業実演会
小田正喜	・ねぎ根葉切り・皮むき機、ねぎ残さ処理システム及びねぎ太さ選別機の導入による農福連携に向けた作業環境の整備 ・ねぎ出荷調製システムによる手作業部分の軽労化と作業者の負担軽減 ・障害者福祉事業所や障害者就業・生活支援センターを対象としたねぎの出荷調製作業の作業見学会、意見交換会

**(13) 地域共生社会を支える農山漁村女性活躍モデル事業（国庫 R2～3）****ア 事業目的**

誰もが住みよい農山漁村地域をつくるため、共助の仕組みづくりを牽引する女性人材の育成と、ソーシャルビジネスの創出につながる地域活動の実証を行う。

**イ 事業内容**

(ア) 地域ネットワーク研修会の開催

月 日	会 場	内 容
10月29日	サンロイヤルとわだ 2階 孔雀の間	1 事例紹介 「地域の方に愛される『おかず屋』の活動」 つがる市 おかず屋 代表 中村 嘉子 氏 2 情報提供 「農山漁村女性による地域貢献活動の 県内の取組状況について」 農林水産政策課 主幹 橋本陽子 (参加者18名)

(イ) コミュニティプラン作成支援

東北町特産品販売促進協議会（東北町）、さくら会（おいらせ町）、みさわやさい市場（三沢市）、(株)産直とわだ（十和田市）、一本松ひまわり生活研究グループ（十和田市）の地域共生社会の実現に向けたコミュニティ活動プランの作成を支援した。

(ウ) モデル活動の実証

一本松ひまわり生活研究グループが、「いきいきサロン」の毎週開催に向けて検討会や研修会を実施したほか、試験的に彼岸だんごや惣菜の配達販売を行った。

**(14) 指定種子検査事業（県単 H30～）****ア 水稻**

(ア) 事業主体 十和田市水稻採種組合

(イ) 事業実施内容

## ①ほ場審査結果

第1期（出穂期）：8月2日

第2期（糊熟期）：8月31日、9月7日

【品種別ほ場指定面積】 (単位：a、筆)

品種名	指定面積	指定ほ場数	合格面積	合格ほ場数
まっしぐら(原種)	122	2	122	2
まっしぐら	8,054	284	8,054	284
ゆたかまる	2,350	62	2,350	62
えみゆたか	543	11	543	11
あさゆき	191	5	191	5
計	11,260	364	11,260	364

合格率は100%であった。

## ②生産物審査結果

種子の発芽勢、発芽率は良好で、全量合格となった。

【生産物審査数量及び発芽試験結果】 (単位：点数、%、kg)

品種名	審査サンプル数	合格サンプル数	不合格サンプル数	平均発芽率	種子生産数量
まっしぐら(原種)	2	2	0	100	7,400
まっしぐら	53	53	0	99	418,000
ゆたかまる	16	16	0	99	128,400
えみゆたか	5	5	0	99	30,400
あさゆき	2	2	0	99	8,000
計	78	78	0	—	592,200

**イ 大豆**

(ア) 事業主体 農事組合法人 赤沼営農組合

(イ) 事業実施内容

## ①ほ場審査結果

第1期（開花期）：8月5日

第2期（成熟期）：10月12、19、22、25、28日、11月1、5、24日

合格率は88%で、生育不良、生育ムラ、青立ち、倒伏により12%が不合格となった。

【品種別ほ場指定面積】 (単位：a、筆)

品種名	指定面積	指定ほ場数	合格面積	合格ほ場数
おおすず	1,924	62	1,689	52
オクシロメ	94	2	94	2
計	2,018	64	1,783	54

#### IV 令和3年度実施事業

##### ②生産物審査結果

種子の発芽率は良好で、全量合格となった。

【生産物審査数量及び発芽試験結果】 (単位：点数、%、kg)

品種名	審査サンプル数	合格サンプル数	不合格サンプル数	平均発芽率	種子生産数量
おおすず	21	21	0	99	24,000
オクシロメ	—	—	—	—	—
計	21	21	0	—	24,000

#### ウ 小麦

(ア) 事業主体 農事組合法人 赤沼営農組合

(イ) 事業実施内容

##### ①ほ場審査結果

第1期(出穂期)：5月24日

第2期(糊熟期)：6月22日、7月2、5日

合格率は90%で、雑草、登熟ムラ、遅れ穂により10%が不合格となった。

【品種別ほ場指定面積】 (単位：a、筆)

品種名	指定面積	指定ほ場数	合格面積	合格ほ場数
ネバリゴシ	802	29	718	28(一部合格も含む)

##### ②生産物審査結果

種子の発芽率は良好で、全量合格となった。

【生産物審査数量及び発芽試験結果】 (単位：点数、%、kg)

品種名	審査サンプル数	合格サンプル数	不合格サンプル数	平均発芽率	種子生産数量
ネバリゴシ	22	22	0	91	19,500

## 2 補助金・交付金事業

## (1) 青森県県産野菜等供給力強靱化対策事業（県単 R2～3）

## ア 事業目的

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、外食から家庭食へのシフトが加速するなど、家庭食向け国産野菜等のニーズが高まっていることから、家庭食向けの県産野菜、果実及びその加工品の継続的・安定的な供給を図るために必要な洗浄、選果・選別、加工、冷凍・冷蔵、包装等設備の導入に要する経費について補助金を交付する。

## イ 補助率

県1/2以内

## ウ 補助金額

令和2年度実施分（R3年度に工期延長）

事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額
ゆうき青森農業協同組合 (七戸町*) ※天間林営農センター	にんにく選果選別設備 一式 (原料供給機、AI選果機、搬送装置、製品積上装置)	円 175,890,000	円 79,950,000
計		175,890,000	79,950,000

令和3年度実施分

事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額
株式会社おいらせ大地 (十和田市)	冷蔵庫 1式 にんにく用冷凍庫 1式 計量機 1台 にんじん洗浄・選別施設 1式	円 136,866,180	円 62,211,000
株式会社あおもりクロ ップス (十和田市)	にんにく冷蔵庫 1式 にんにく乾燥設備 1式	1,947,000	885,000
株式会社グリーンソウ ル (十和田市)	ごぼう用機械設備 1式 だいこん用機械設備 1式 ながいも用機械設備 1式	184,976,000	84,080,000
ジョイント・ファーム 株式会社 (三沢市)	にんにく皮むき機 1台	5,300,000	2,409,000
株式会社あづま (七戸町)	タイヤボイラー 1台 フリーズドライ加工設備 1台	122,515,800	53,603,000
株式会社マルタケ (おいらせ町)	ごぼう用計量機 1台	9,900,000	4,500,000
計		456,915,780	207,688,000

注 令和4年1月末現在

## (2) 青森県野菜等産地力強化支援事業(県単 H30~R5)

## ア 事業目的

野菜等産地の所得向上と産地力の強化を図るため、省力化等に必要な施設・機械、施設園芸の振興に必要なパイプハウスの導入を支援する。

## イ 事業内容

(単位：千円)

市町村名	事業実施 主体名	対象農作物	事業内容	事業量	事業費	負担区分		
						県	市町村	その他
東北町	認定農業者	ながいも、 ごぼう	オフセットチョッパ ー	1台	1,200	272	0	928
三沢市	認定農業者	ごぼう	選別機	1台	1,650	375	0	1,275
	認定農業者	ごぼう	収穫機	1台	1,430	325	0	1,105
	認定農業者	ごぼう、 ながいも	自動操舵システ ム	1台	2,200	500	0	1,700
	認定農業者	にんにく	成型マルチロータ ー	1台	836	190	0	646
	認定農業者	ながいも	収穫機	1台	1,750	397	0	1,353
	認定農業者	にんにく	ロータリーカルチ	1台	781	177	0	604
	認定農業者	にんにく、 ごぼう	ロータリーカルチ	1台	2,970	675	0	2,295
	認定農業者	にんにく	植付機	1台	1,925	437	0	1,488
	認定農業者	にんにく	収穫機	1台	2,640	600	0	2,040
	認定農業者	にんにく	植付機	1台	2,090	475	0	1,615
	認定農業者	ごぼう	畝立て同時 整形播種機	1台	635	144	0	491
	認定農業者	にんにく	植付機	1台	2,145	487	0	1,658
	認定農業者	ごぼう	収穫機	1台	1,265	287	0	978
	認定農業者	ごぼう	収穫機	1台	1,900	431	0	1,469
	認定農業者	ながいも	乗用管理機	1台	1,045	237	0	808
	認定農業者	にんにく	収穫機	1台	2,750	625	0	2,125
	認定農業者	ごぼう	畝立て同時 整形播種機	1台	635	144	0	491
認定農業者	にんにく	植付機	1台	1,925	437	0	1,488	
おいらせ 町	認定農業者	にんにく	植付機	1台	2,200	500	0	1,700
	認定農業者	だいこん	洗浄機一式	1台	1,045	237	0	808
	認定農業者	だいこん	播種機一式	1台	550	125	0	425
	認定農業者	ごぼう	収穫機	1台	1,320	300	0	1,020
	認定農業者	ごぼう	畝立て同時 整形播種機	1台	561	127	0	434
	認定農業者	ごぼう	収穫機	1台	2,695	612	0	2,083
合計				25台	40,144	9,116	0	31,028

注) 令和4年1月末現在(千円以下切り捨てで記入)

事業費及びその他の額は、千円以下の端数により合計額と一致しない場合がある。



**(3) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金(産地基幹施設等支援タイプ)(国庫 R1～)****ア 事業目的**

消費者・実需者ニーズを踏まえた国産農産物の安定的供給体制の構築に向け、産地としての持続性を確保し、収益力を向上するため、安全・安心で効率的な流通システムの確立等に取り組み、農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化等、地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。

**イ 事業内容**

(単位：千円)

事業実施年度	市町村名	事業区分	事業実施主体名	事業内容	事業費	交付金額	備考
令和2～3年度	十和田市	産地競争力の強化	十和田 おいらせ 農業協同 組合	穀類乾燥調製 貯蔵施設 年間処理量 7,000t(乾粳)	2,644,812	1,179,518	2か年 事業の うち2 年目

<b>(4) 環境保全型農業直接支払交付金（国庫 R2～6）</b>
------------------------------------

**ア 事業目的**

地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくため、環境保全に効果の高い営農活動を普及推進する。

**イ 事業内容****(ア) 環境保全型農業直接支払交付金（定額）**

自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施に取り組む農業者団体に対し、取組面積に応じて交付金を交付する。

<取組状況>

市町村	対象となる営農活動	団体数	面積(a)	事業費(円)	備考
十和田市	有機農業	1	579	694,800	国1/2以内 県1/4以内 市町村 1/4以内
三沢市	カバークロップ	1	1,667	1,000,200	
六戸町	カバークロップ	1	654	392,400	
おいらせ町	カバークロップ、 有機農業	1	1,687	1,597,800	
計		4	4,587	3,685,200	

**(イ) 環境保全型農業直接支払推進交付金（定額）**

市町村が実施する確認事務などに係る経費に対して交付する。

(令和3年度は実施なし)

**(5) 農業委員会交付金等 (国庫 S60～)****ア 事業目的**

農地利用の最適化等を推進するため、農業委員会が活動する経費について農業委員会交付金等を交付する。

**イ 事業内容**

## (ア) 交付金の区分

## ① 農業委員会交付金 (S60年～)

農業委員会職員給与、農業委員等の月例報酬に係る経費

## ② 農地利用最適化交付金 (H28年～)

農業委員等が行う人・農地プラン実質化活動、農地パトロール等に伴う報酬に係る経費

## ③ 農地法等事務適正実施支援事業費補助金 (H26年～)

農業委員会の必須業務に必要な物品購入等に係る経費

## ④ 農地有効利用支援事業費補助金 (H26年～)

農業委員等の資質向上に係る研修会等旅費、参考図書等購入に係る経費

## (イ) 事業費・交付金額

(単位：千円)

事業実施主体	事業区分	事業費	うち交付金等	事業実施主体	事業区分	事業費	うち交付金等
十和田市 農業委員会	①	40,060	5,629	横浜町 農業委員会	①	12,789	1,356
	②	990	990		②	90	90
	③	136	136		③	1,959	1,959
	④	330	330		①	21,823	2,968
三沢市 農業委員会	①	7,980	1,843	東北町 農業委員会	②	90	90
	②	720	720		③	216	167
	③	2,319	1,711		④	98	98
	④	598	598		六ヶ所村 農業委員会	①	4,167
野辺地町 農業委員会	①	2,516	916	おいらせ町 農業委員会	②	660	660
	②	576	576		①	19,972	1,879
	③	240	185		②	240	240
	④	30	10		③	1,959	1,959
七戸町 農業委員会	①	26,354	3,014	計	①	149,066	21,362
	②	105	105		②	4,009	4,009
	③	1,814	1,409		③	8,887	7,714
	④	31	20		④	1,087	1,056
六戸町 農業委員会	①	13,405	2,014				
	②	538	538				
	③	244	188				

注) 事業費、交付金等は令和3年12月末現在の実績見込額

**(6) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（地域担い手育成支援タイプ等）（国庫 R1～）****ア 事業目的**

農業従事者の減少と高齢化が進む中において、農業の持続的発展を図りつつ、人・農地プランに位置づけされた地域農業の中心経営体等の育成・確保を図ることとし、その経営体がプロジェクト融資を受けて農業機械等を導入することに対し助成する。

また、令和2年から3年までの冬期の大雪被害対策については、市町村のかさ上げ又はプロジェクト融資を受けて農業機械の修繕やパイプハウスの修繕・再建することに対し助成する。

**イ 事業内容**

市町村	区分	事業費等					経営 体数	件 数
		総事業費	国費	市町村費	融資額	自己負担		
十和田市	融資主体型	9,300,000	2,550,000	0	6,800,000	0	1	1
おいらせ町	融資主体型	9,766,800	2,661,000	0	7,100,000	5,800	2	3
六ヶ所村	融資主体型	21,210,000	5,754,000	0	9,000,000	4,701,000	3	7
十和田市	冬期の大雪	9,056,979	2,594,000	1,578,000	0	4,884,979	7	7
三沢市	冬期の大雪	730,000	199,000	0	370,000	161,000	1	1
横浜町	冬期の大雪	1,420,000	426,000	327,000	0	667,000	1	1
東北町	冬期の大雪	13,470,915	3,385,000	1,200,000	960,000	7,925,915	7	8
六ヶ所村	冬期の大雪	4,053,500	1,215,000	300,000	0	2,538,500	1	1
合計		69,008,194	18,784,000	3,405,000	24,230,000	20,884,194	23	29

(令和4年2月末日現在)

**(7) 担い手確保・経営強化支援交付金（国庫 補正H28～）****ア 事業目的**

農業従事者の減少と高齢化が進む中において、農業の持続的発展を図りつつ、人・農地プランに位置づけされた地域農業の中心経営体等の育成・確保を図ることとし、その経営体がプロジェクト融資を受けて農業機械等を導入することに対し助成する。

**イ 事業内容**

市町村	区分	事業費等					経営 体数	件 数
		総事業費	国費	市町村費	融資額	自己負担		
十和田市	融資主体型	25,355,000	11,525,000	0	13,830,000	0	1	3
三沢市	融資主体型	4,180,000	1,900,000	0	2,280,000	0	1	1
おいらせ町	融資主体型	12,303,000	5,588,000	0	6,710,000	2,000	1	5
合計		41,835,000	19,013,000	0	22,820,000	2,000	3	9

(令和4年1月末日現在)

**(8) 機構集積協力交付金等 (国庫 H27~R3)****ア 事業目的**

農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域・個人を支援することにより、機構を活用した担い手への農地集積・集約化を図る。

**イ 事業内容**

(単位：a、円)

事業実施主体	事業内容	対象面積	交付金	備考
十和田市	経営転換協力金	1,607	2,087,000	
	地域集積協力金	2,762	4,419,200	赤石地区
三沢市	経営転換協力金	741	1,111,500	
野辺地町	経営転換協力金	435	524,000	
七戸町	経営転換協力金	424	636,000	
六戸町	経営転換協力金	321	481,500	
東北町	経営転換協力金	1,941	2,651,000	
	地域集積協力金	1,029	1,646,400	赤川地区
六ヶ所村	経営転換協力金	632	948,000	
おいらせ町	経営転換協力金	237	355,500	
合計		10,129	14,860,100	

注) 事業内容、補助金は見込額 (令和4年1月末現在)

**(9) 農業次世代人材投資事業（国庫 H29～R3）****ア 事業目的**

就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保するための資金を交付することにより、農業新時代に必要な人材の強化を図る。

**イ 事業内容**

(単位：円)

交付主体	農業次世代人材投資資金 (経営開始型)	推進事業	計	交付対象
十和田市	17,250,000	24,000	17,274,000	14名
三沢市	6,950,951	-	6,950,951	7名
七戸町	3,000,000	-	3,000,000	2名
六戸町	1,500,000	-	1,500,000	1名
横浜町	1,500,000	-	1,500,000	3名
東北町	11,244,000	31,800	11,275,800	9名
六ヶ所村	1,500,000	-	1,500,000	1名
おいらせ町	3,000,000	10,600	3,010,600	3名
計	45,944,951	66,400	46,011,351	40名

注) 事業費、補助金は令和4年2月末現在の実績見込額

**(10) 青森県環境変化に対応した水田農業基盤強化事業（県単 補正R3～4）****ア 事業目的**

米の概算金下落など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた稲作農家が営農意欲を失わず将来方向を見だし、令和4年産以降の生産に取り組めるよう、野菜等高収益作物を取り入れた経営の強化や稲作の低コスト・省力技術の導入により収益力向上を図るため、農業機械等を導入することに対し助成する。

**イ 事業内容**

補助対象	事業費等				主体 人数	台数 等
	総事業費	県費	市町村等費	自己負担		
七戸町地域農業再生協議会	4,696,850	1,066,000	0	3,630,850	6	26
六戸町	3,586,000	815,000	0	2,771,000	2	2
合計	8,282,850	1,881,000	0	6,401,850	7	28

(令和4年1月末日現在)

**(11) 経営所得安定対策直接支払推進事業（国庫 H27～）****ア 事業目的**

市町村及び地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の地域推進活動に要する以下の経費について、補助金を交付する。

(ア) 経営所得安定対策の普及推進活動（説明会開催、普及広報資料作成、配布等）

(イ) 需要に応じた作物の生産方針等の策定

(ウ) 申請書類等の印刷、配布、回収、整理取りまとめ、受付

(エ) 対象作物（産地交付金の助成作物を含む）の作付面積、生産数量等の確認事務

(オ) 農業者情報、水田情報等のシステム入力、集計事務

(カ) 産地交付金の要件設定、確認事務 など

**イ 補助対象経費**

地域推進活動の実施に必要な謝金、旅費、賃金及び共済費、事務等経費（印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、借料・損料等）、委託費、助成費等の経費

**ウ 補助率**

国10/10以内

**エ 補助金額**

（単位：千円）

実施主体名	交付決定額		
	令和3年度 <sup>注</sup> A	平成2年度 B	増減 A－B
十和田市	13,500	13,020	480
三沢市	3,128	2,477	651
野辺地町	2,670	2,591	79
七戸町	5,438	4,620	818
六戸町	1,979	2,042	▲63
横浜町	3,958	2,506	1,452
東北町	5,372	4,331	1,041
おいらせ町	4,416	4,092	324
六ヶ所村	656	696	▲40
合計	41,117	36,375	4,742

注) 令和3年1月末現在

**(12) スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業(国庫 R3～)****ア 事業目的**

スマート農業の全国展開にむけて生産現場での効果を実証されてきている機械をより低コストに導入し、面積当たりの労働時間の低減などを図るため、スマート農機の一括発注及び共同利用による導入に対して支援する。

**イ 事業内容**

(単位：千円)

事業実施主体名	事業区分	事業内容	事業費	交付金額
(株)グリーンソウル	一括発注 タイプ	にんにく収穫機 5台	11,798	7,150
三沢スマート農機研究会 (会長 川嶋敏明)		自動操舵装置 5台	9,658	4,390
スマート農業横浜町部会 (会長 竹内圭史)		自動操舵装置 6台	8,580	5,200
上十三野菜研究会 (会長 新堂友和)		自動操舵装置 8台	15,730	9,533



### 3 その他の事業

#### (1) あおもり食品産業強化サポート事業（県単 R1～3）

**取組主体** 青森県、公益社団法人21あおもり産業総合支援センター（あおもりよろず支援拠点）、地方独立行政法人青森県産業技術センター

##### ア 事業目的

新たな商品づくりに向けて行政や関係機関が一体となり、事業者に対し具体的な支援の時機を逃すことなく「積極的」かつ「継続的」に行うとともに、成功事例を創出することにより食産業の充実強化を図る。

##### イ 事業内容（農業普及振興室が関わった部分）

(ア)「農商工連携食産業づくり相談窓口」設置と「ABC相談会」の開催

毎月開催されるABC相談会において、地域の6次産業化スタートアップ支援事業や市町村の6次産業化関連支援事業の活用に向けた事業者への支援活動を行い、新たに5品（2月末現在）の加工品が開発された。

商 品 名	概 要
鮭トバのしちやったんデン	のしか加工の技術を応用して薄くのした鮭トバ
にんにくマリアージュ（にんにく&たまねぎ）	にんにくをベースにたまねぎ、りんごと組み合わせたペーストタイプ調味料
にんにくマリアージュ（にんにく&りんご）	
まるごと青森県産じゃがいもチップス	青森県産のじゃがいも、ごぼうを米油で揚げた菓子（栄養機能食品）
まるごと青森県産ごぼうスティック	

#### (2) あおもりながいも産地力強化推進事業（国庫 R3～5）

**取組主体** 青森県

##### ア 事業目的

ながいも出荷量日本一に向け、「あおもりながいも産地力強化戦略」に基づき、品種特性を維持するための種苗増殖方法の改善や新品種の早期導入のほか、省力栽培体系のシステム化と担い手の確保、育成に取り組む。

##### イ 事業内容（農業普及振興室が関わった部分）

(ア) 品種特性を維持するための種苗増殖方法の改善

① 催芽切りいも利用による種苗増殖方法改善モデルの実証

管内では、ながいもの達人1人に展示ほを委託し、催芽した種子重の違い

#### IV 令和3年度実施事業

(100g、120g) がむかご、成いもの収量に与える影響を把握した。

##### ②新品種の早期導入

管内2か所（七戸町、東北町）に新品種の2候補の栽培展示ほを設置し、いも長、がんく長、いも重などの特性を把握した。

##### (イ) 省力栽培体系のシステム化

(委託先：(地独) 青森県産業技術センター野菜研究所)

- ①収穫から運搬までの作業体系確立に向けた実証
- ②多収技術と省力化技術を組み合わせた効果実証

##### (ウ) 地域の担い手の確保・育成

##### ①ながいもプロフェッショナル養成所研修の開催

栽培講習会や「ながいもプロフェッショナル養成所」を活用して、担い手農家のレベルアップに繋げた。

##### ②生産技術チェックシートと達人技術のマニュアル化

##### (エ) あおもりながいも産地力強化戦略後期行動計画の検討

あおもりながいも生産流通再編作業部会、あおもりながいも生産流通再編プロジェクトチーム検討会、あおもりながいも生産流通対策会議において、後期行動計画を検討した。

### (3) 青森にんにくブランド産地強化事業（県単 R2～3）

#### ア 事業目的

青森にんにくのブランド産地としての地位をより強固にするため、新品種の導入や優良種苗の普及などに取り組む。

#### イ 事業内容（農業普及振興室が関わった部分）

##### (ア) にんにく新品種栽培技術現地実証ほの運営支援

##### ①実証ほの目的

前年に絞り込まれた、新品種候補の現地での適応性を確認しつつ、早期導入に向けた栽培技術を組立てる。農業普及振興室は、栽培管理指導や調査等に協力し、実証ほ運営を支援する。

##### ②設置場所など

関係農協	実証ほ所在地	供試品種
J A十和田おいらせ	十和田市	青野にんにく1号 福地ホワイト(黒石A系統) 白玉王
J Aゆうき青森	六ヶ所村	

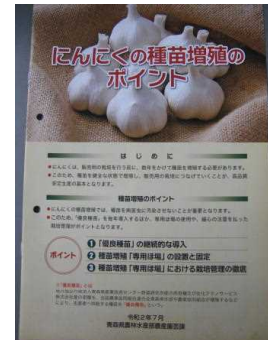
※ りん片重は、9～11g、12～14gの二段階で行っている。

(イ) 生産者への優良種苗増殖技術の普及

「青森県にんにく優良種苗生産・供給指導指針」に基づき、生産者用に作成したリーフレット「にんにくの種苗増殖のポイント」を活用した講習会を開催した

対象農協名	時 期	箇所数	参加人数
十和田おいらせ	8月	6	128名
おいらせ	7～8月	2	37名

なお、JAゆうき青森管内は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会中止となった。



#### IV 令和3年度実施事業